



AI人材育成  
特別部門賞受賞



企業DX人材育成  
特別部門賞受賞



# キカガク for Business



キカガク  
KIKAGAKU



DX 人材を定量評価し、可視化できる

## DX 人材ラーニング・アセスメント プラットフォーム



知識/スキルの  
現状把握

人材の選抜

研修の  
効果測定

育成ロード  
マップ策定

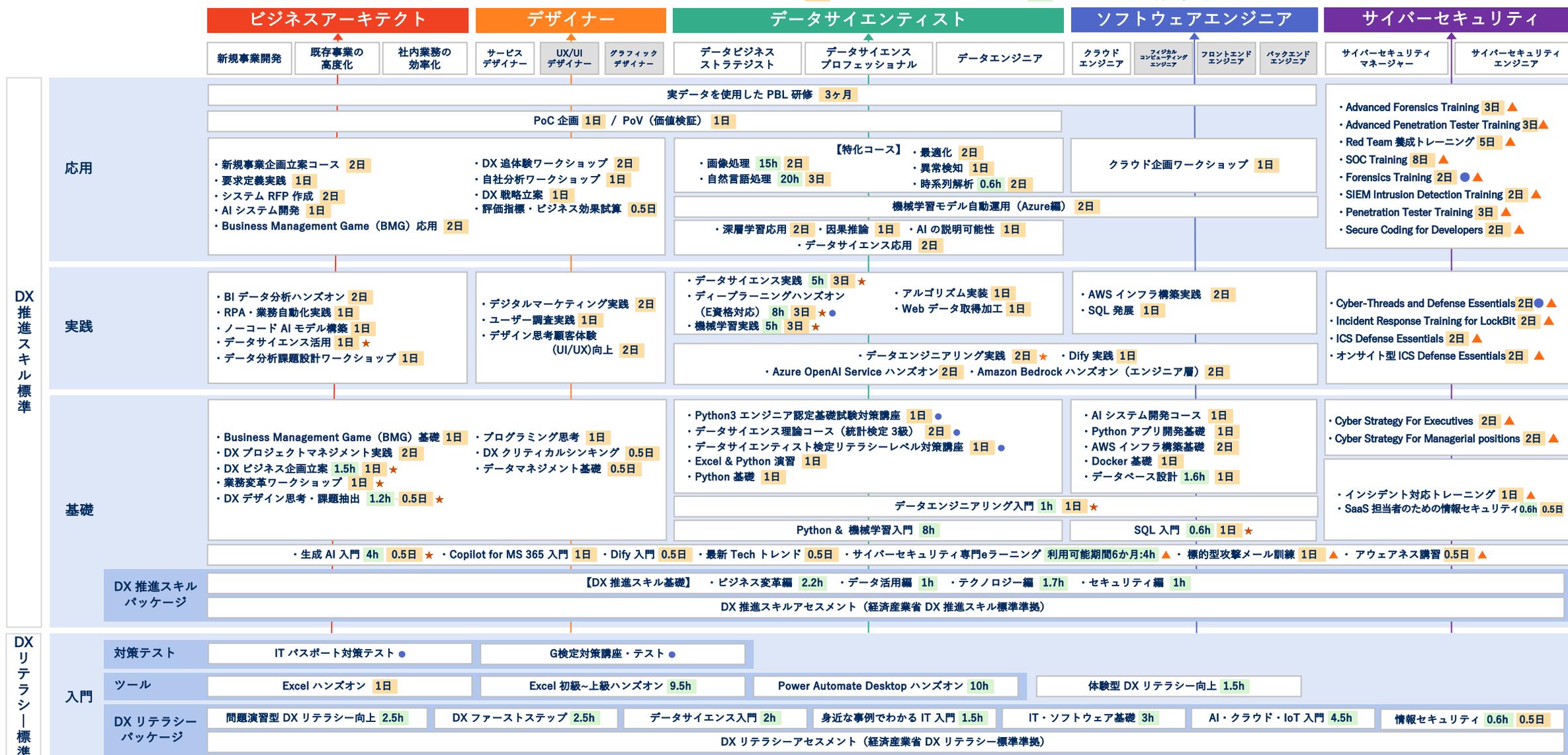
などに活用！

## DX 人材の定量評価を軸に、企業のフェーズに合わせて支援

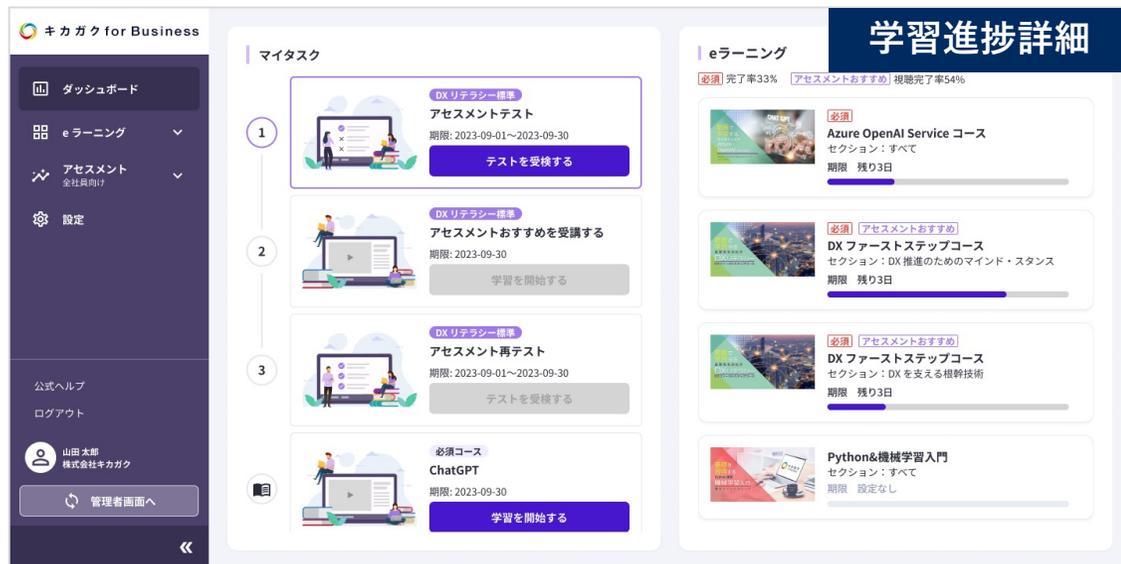


# 人材育成ロードマップ：デジタルスキル標準対応

  : オンライン/オフライン研修
   : eラーニング
 ★ : オープンコース
 ● : 資格系
 ▲ : サイバージム社提供サービス



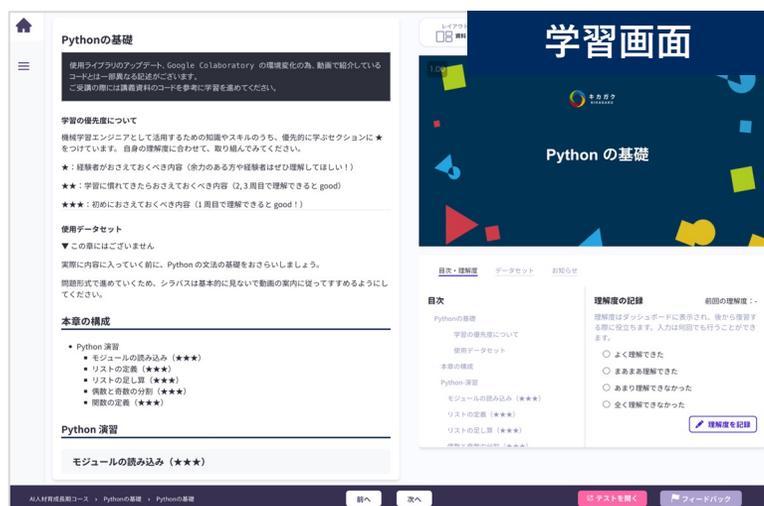
# ラーニング：① 受講者画面

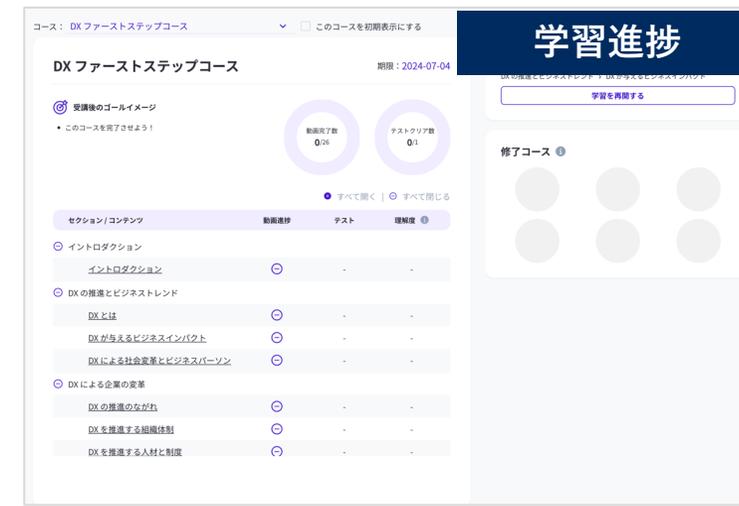


## 受講者画面 主な機能

- ✓ ダッシュボード
  - ・マイタスク
  - ・学習進捗状況一覧（コース別）
  - ・受講コース一覧
- ✓ eラーニング学習・進捗確認 ※
- ✓ アセスメント受検・進捗確認 ※

※ ご契約内容によって異なります。





# ラーニング：② 管理者画面

## ダッシュボード

キカガク for Business

グループ: 20XX年03月DXリテラシー

氏名・部署名

コース選択

レポートをダウンロード ↓

氏名	部署名	動画視聴完了数	テスト完了数	ステータス
demo user2	開発事業部	0/174	0/132	進行中
demo user4	DX推進室	0/174	0/132	進行中
demo user5	DX推進室	0/174	0/132	進行中
demo user6	開発事業部	0/174	0/132	進行中
demo user7	DX推進室	0/174	0/132	進行中
demo user9	-	0/174	0/132	進行中
demo user10	DX推進室	0/174	0/132	進行中
demo user11	-	56/174	0/132	進行中
demo user12	-	-	-	-
demo user13	-	-	-	-
demo user14	-	-	-	-
demo user15	-	-	-	-

### 学習進捗詳細

コース: AI/クラウド/IoT入門コース

セッション/コンテンツ	動画進捗	テスト	理解度
AI・機械学習シリーズ1			
人工知能(AI)とは	⊖	0/3	-
機械学習とは	⊖	0/3	-
機械学習に必要な2つのステップ	⊖	0/3	-
機械学習の3大トピック	⊖	0/3	-
機械学習で扱うデータとは	⊖	0/3	-
AIブームはなぜ起きたのか	⊖	0/3	-
AI・機械学習シリーズ2			
表データにおける回帰	⊖	0/3	-
表データにおける分類	⊖	0/3	-
クラスターリング	⊖	0/3	-
次元削減	⊖	0/3	-
決定木	⊖	0/3	-

## 管理画面 主な機能

- ✓ ダッシュボード
  - ・ 学習進捗状況一覧（コース別 / 受講期別）
  - ・ 個別の学習進捗確認（動画完了数 / テスト完了数 / 理解度）
- ✓ レポート用 CSV ダウンロード
- ✓ メンバーの追加・削除（権限管理含む）
- ✓ スケジュール管理機能

企業内のデジタルスキルを可視化し、  
採用育成の評価・自律的な学習を促すためのアセスメント

## 特徴

- 全てのビジネスパーソンに求められる「DX リテラシー標準」に準拠し、**6区分23項目に対応した試験問題**
- DX 推進に必要な「DX 推進スキル標準」に準拠し、**5区分12項目に対応した試験問題**
- 組織内ランキング、区分別・受検グループ別・試験別の比較、統計分布などの**豊富な軸をもつダッシュボード**

## サービス概要

- 受講者は計60問の試験を 1年間で最大3回受検。自身の受験結果の確認が可能
- 管理者は CSV での受講者登録・受講進捗の確認・ダッシュボードでの受験結果の確認が可能
- 組織別分析・経年比較・業種別比較機能など、組織能力可視化へ一層貢献する機能開発の計画あり

全てのビジネスパーソンに必要なデジタルスキルを可視化し、人材戦略へ役立てる

選出

評価

改善

✓ 対象者選出時の評価基準として活用

### 活用イメージ例

- ✓ Sランク以上を対象に社内基礎学習より卒業
- ✓ Bランク以上を対象に選抜人材育成を実施

✓ 育成前後のスコア比較と通じて、施策評価に活用

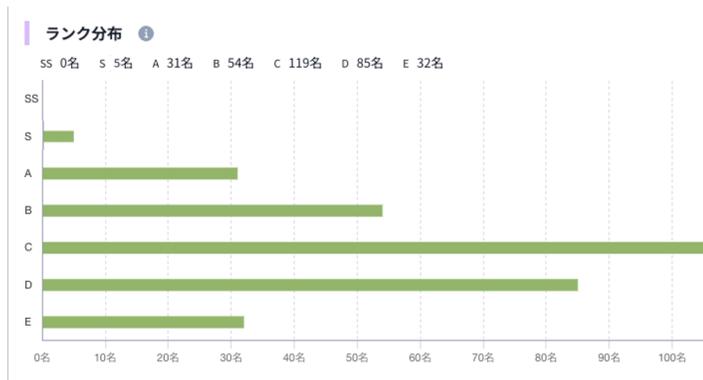
### 活用イメージ例

- ✓ 総合ランク・マインドセット・知識スキル軸に合わせて、具体的な育成プログラム・成果を見直し

✓ ビジネス成果・人材像・育成施策の改善に活用

### 活用イメージ例

- ✓ 人材計画（レベル・人員）の検討軸として利用
- ✓ 時系列比較によって、人材開発の計画見直し



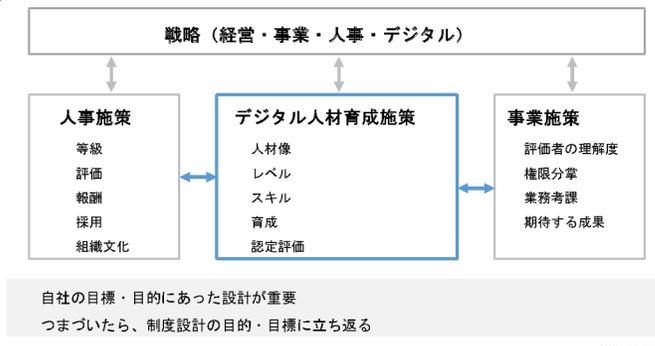

成績

比較: 回数 グループ 業種 2回目

	総合得点	マインド スタンス	DXの 習熟理解	データ	デジタル 技術	活用方法 ・事例	留意点
組織 (1回目)	27.2/72	5.8/14	1.8/6	5.5/16	5.7/16	3.5/8	4.8/12
組織 (2回目)	21/72	6/14	1.5/6	5/16	3/16	2.5/8	3/12
全社員 (1回目)	29.8/72	7/14	2/6	6.2/16	6/16	3.6/8	5/12
全社員 (2回目)	21/72	6/14	1.5/6	5/16	3/16	2.5/8	3/12

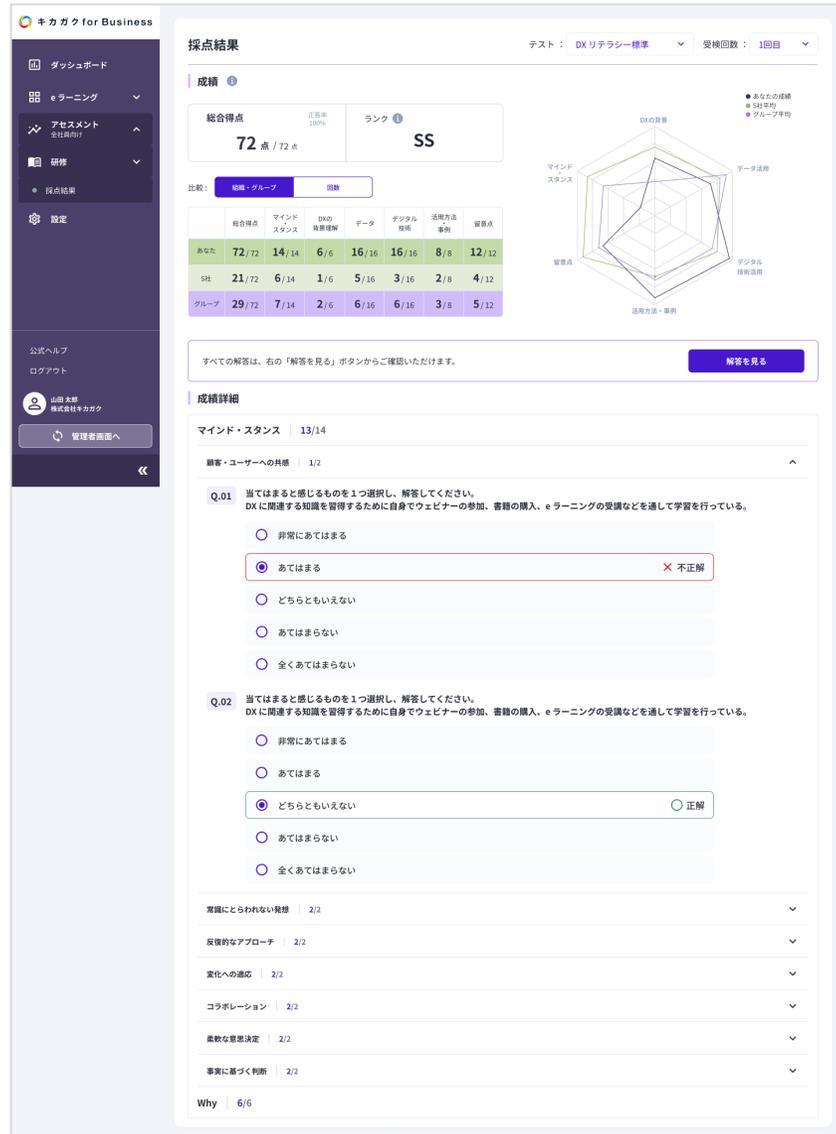


デジタル人材育成と社内施策の関係性



# ① 全社員向け DX リテラシーアセスメント (受講者)

## アセスメント結果



キカガク for Business

ダッシュボード  
eラーニング  
アセスメント  
研修  
採点結果  
設定

公式ヘルプ  
ログアウト  
山田太郎  
株式会社キカガク  
管理者画面へ

採点結果

テスト: DXリテラシー標準 受験回数: 1回目

成績

総合得点 72点 / 72点 正答率 100% ランク SS

あなたの成績  
52年平均  
グループ平均

比較: 組織・グループ 回数

	総合得点	マインド スタンス	DXの 理解	データ	デジタル スキル	活用方法 事例	習得点
あなた	72 / 72	14 / 14	6 / 6	16 / 16	16 / 16	8 / 8	12 / 12
平均	21 / 72	6 / 14	1 / 6	5 / 16	3 / 16	2 / 8	4 / 12
グループ	29 / 72	7 / 14	2 / 6	6 / 16	6 / 16	3 / 8	5 / 12

すべての解答は、右の「解答を見る」ボタンからご確認ください。

解答を見る

成績詳細

マインド・スタンス | 13/14

顧客・ユーザーへの共感 | 1/2

Q.01 当てはまると感じるものを1つ選択し、解答してください。  
DXに関連する知識を習得するために自身でウェビナーの参加、書籍の購入、eラーニングの受講などを通して学習を行っている。

非常にあてはまる

あてはまる × 不正解

どちらともいえない

あてはまらない

全くあてはまらない

Q.02 当てはまると感じるものを1つ選択し、解答してください。  
DXに関連する知識を習得するために自身でウェビナーの参加、書籍の購入、eラーニングの受講などを通して学習を行っている。

非常にあてはまる

あてはまる

どちらともいえない ○ 正解

あてはまらない

全くあてはまらない

常識にとらわれない発想 | 2/2

反復的なアプローチ | 2/2

変化への適応 | 2/2

コラボレーション | 2/2

柔軟な意思決定 | 2/2

事実に基づく判断 | 2/2

Why | 6/6

## テスト概要



キカガク for Business

ダッシュボード  
eラーニング  
アセスメント  
全社向け  
設定

公式ヘルプ  
ログアウト  
山田太郎  
株式会社キカガク  
管理者画面へ

テスト受検

残り 1:00 中断する

マインドスタンス > 変化への対応

7% 完了 (2/36問中)

Q.02 当てはまると感じるものを1つ選択し、回答してください。  
DXに関連する知識を習得するために自身でウェビナーの参加、書籍の購入、eラーニングの受講などを通して学習を行っている。

非常にあてはまる

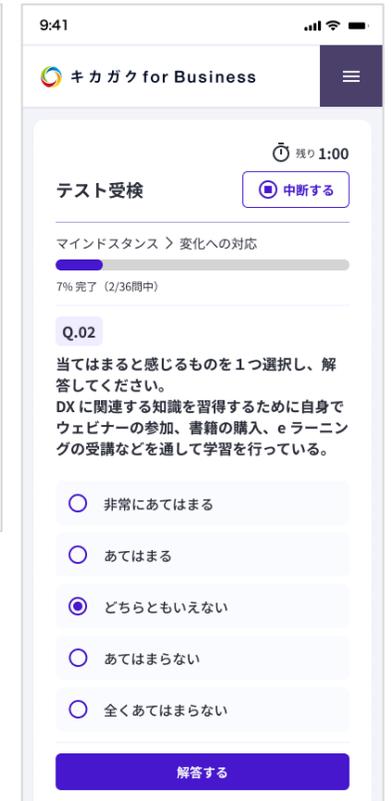
あてはまる

どちらともいえない

あてはまらない

全くあてはまらない

解答する



9:41

キカガク for Business

テスト受検 残り 1:00 中断する

マインドスタンス > 変化への対応

7% 完了 (2/36問中)

Q.02 当てはまると感じるものを1つ選択し、解答してください。  
DXに関連する知識を習得するために自身でウェビナーの参加、書籍の購入、eラーニングの受講などを通して学習を行っている。

非常にあてはまる

あてはまる

どちらともいえない

あてはまらない

全くあてはまらない

解答する

経産省「DXリテラシー標準」準拠  
知識力・思考力・マインドセットを定量評価

# ① 全社員向け DX リテラシーアセスメント (管理者)

## ダッシュボード

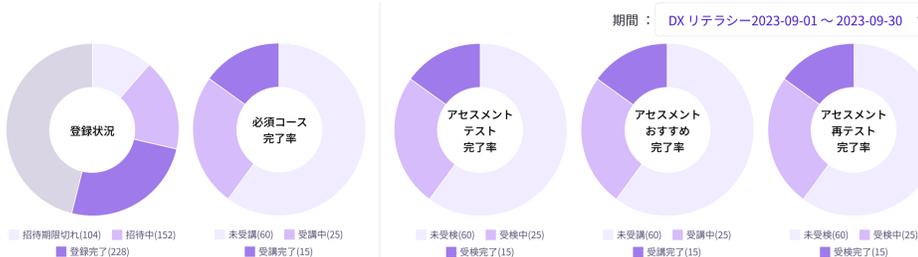
キカガク for Business

全体進捗

グループ: グループXX

レポートをダウンロード

期間: DX リテラシー2023-09-01 ~ 2023-09-30



登録状況

必須コース完了率

アセスメントテスト完了率

アセスメントおおすすめ完了率

アセスメント再テスト完了率

お知らせ

件名	掲載日
2023.09.02 システムメンテナンスについて	2023-09-02
DX推進スキルアセスメントテスト	2023-08-31
専門人材向けスキル可視化機能	2023-08-30

山田 太郎  
株式会社キカガク

受講者画面へ

## アセスメントダッシュボード

キカガク for Business

組織統計

グループ: 全社員

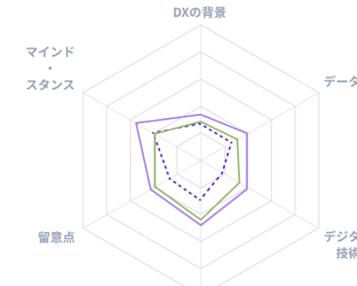
2023-09-01 ~ 2023-09-30, DX リテラシー標準, 1回目

成績

比較: 回数 グループ 業界 2回目

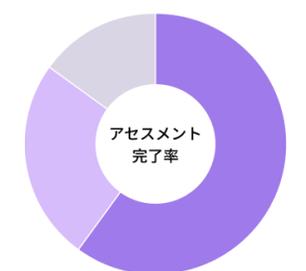
	総合得点	マインド スタンス	DXの 背景理解	データ	デジタル 技術	活用方法 ・事例	留意点
組織(1回目)	27.2/72	5.8/14	1.8/6	5.5/16	5.7/16	3.5/8	4.8/12
組織(2回目)	21/72	6/14	1.5/6	5/16	3/16	2.5/8	3/12
全社員(1回目)	29.8/72	7/14	2/6	6.2/16	6/16	3.6/8	5/12
全社員(2回目)	21/72	6/14	1.5/6	5/16	3/16	2.5/8	3/12

DXの背景



活用方法・事例

受検ステータス



アセスメント完了率

山田 太郎  
株式会社キカガク

受講者画面へ

# DX リテラシー標準概要 (経済産業省)

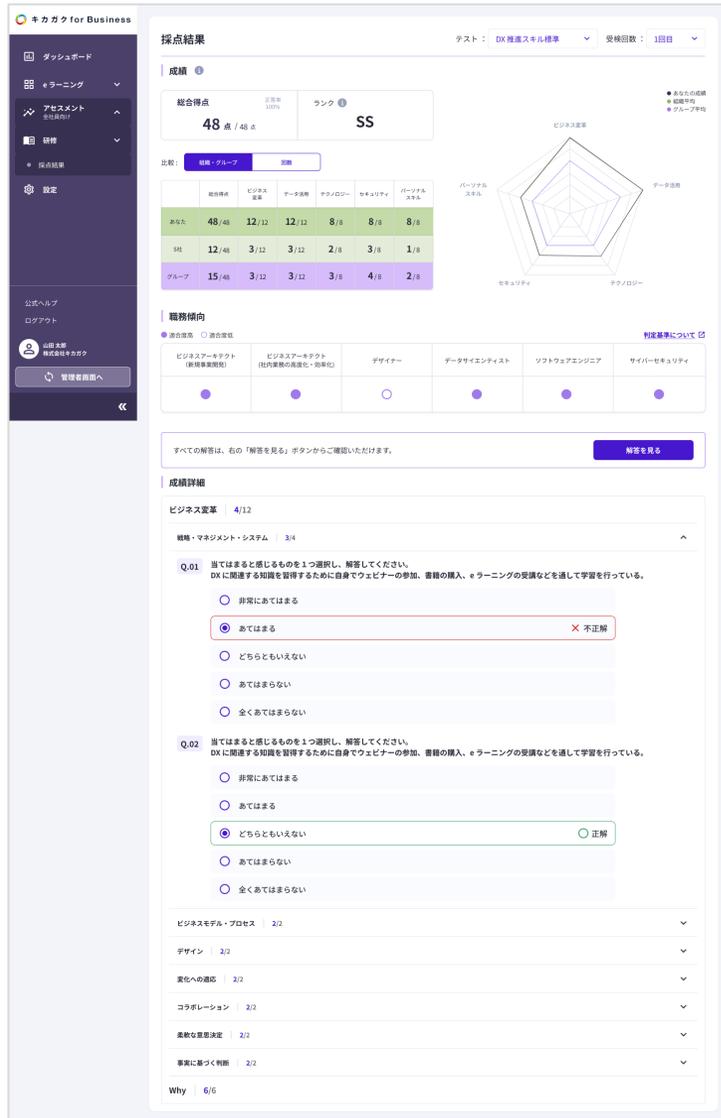
区分	No	項目	
マインド・スタンス	1	変化への対応	
	2	コラボレーション	
	3	顧客・ユーザーへの共感	
	4	常識にとらわれない発想	
	5	反復的なアプローチ	
	6	柔軟な意思決定	
	7	事実に基づく判断	
Why 背景の理解	8	社会の変化	
	9	顧客価値の変化	
	10	競争環境の変化	
What デジタル技術の理解	11	社会におけるデータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの種類</li> <li>社会におけるデータ活用</li> </ul>
	12	データを読む・説明する	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの分析手法</li> <li>データを読む</li> <li>データを説明する</li> </ul>
	13	データを扱う	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの抽出・加工</li> <li>データの出力</li> <li>データベース</li> </ul>
	14	データによって判断する	<ul style="list-style-type: none"> <li>データドリブンな判断プロセス</li> <li>分析アプローチ設計</li> <li>モニタリングの手法</li> </ul>
	15	AI	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIの歴史</li> <li>AIを作るための手法・技術</li> <li>AIの得意分野・限界</li> <li>人間中心のAI社会原則</li> </ul>
	16	クラウド	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドの仕組み</li> <li>クラウドサービスの提供形態</li> </ul>
	17	ハードウェア・ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハードウェア</li> <li>ソフトウェア</li> <li>企業における開発・運用</li> </ul>
	18	ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークの仕組み</li> <li>インターネットサービス</li> </ul>

区分	No	項目	
How データ・技術の活用	19	データ・デジタル技術の活用事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業活動におけるデータ・デジタル技術の活用事例</li> </ul>
	20	ツール活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツールの活用方法</li> <li>ノーコード・ローコードツールの基礎知識</li> </ul>
	21	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティの3要素</li> <li>セキュリティ技術</li> <li>個人が取るべきセキュリティ対策</li> </ul>
	22	モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネット被害・SNS等のトラブルの事例・対策</li> <li>データ活用における禁止事項</li> </ul>
	23	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の定義と個人情報に関する法律・留意事項</li> <li>著作権・産業財産権・その他の権利が保護する対象</li> <li>諸外国におけるデータ規則</li> </ul>

IPA・経済産業省「デジタルスキル標準 ver.1.0」より引用 (<https://www.meti.go.jp/press/2022/12/20221221002/20221221002-2.pdf>)

# 推進人材向け DX推進スキルアセスメント

## ダッシュボード



	総合得点	ビジネス実務	データ活用	セキュリティ	パーソナルスキル
あなた	48/48	12/12	12/12	8/8	8/8
SI	12/48	3/12	3/12	2/8	3/8
グループ	15/48	3/12	3/12	3/8	2/8

Q.01 当てはまると感じるものを1つ選択し、解答してください。DXに関連する知識を習得するために自分でウェブサイトの参加、書籍の購入、eラーニングの受講などを通して学習を行っている。

非常にあてはまる

あてはまる ✖ 不正解

どちらともいえない

あてはまらない

全くあてはまらない

## テスト概要



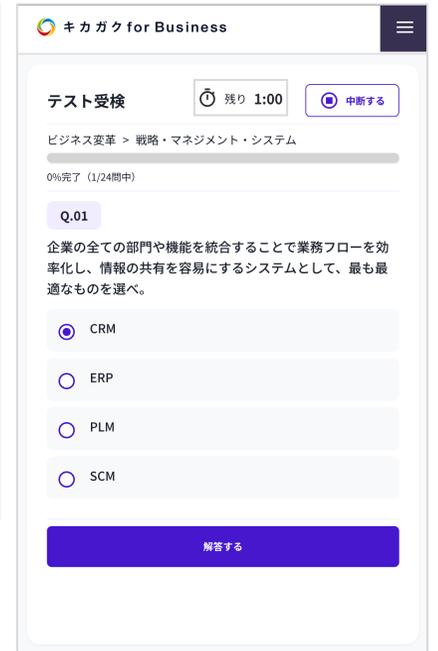
Q.01 企業の全ての部門や機能を統合することで業務フローを効率化し、情報の共有を容易にするシステムとして、最も最適なものを選び。

CRM

ERP

PLM

SCM



Q.01 企業の全ての部門や機能を統合することで業務フローを効率化し、情報の共有を容易にするシステムとして、最も最適なものを選び。

CRM

ERP

PLM

SCM

解答する

## 経産省「DX推進スキル標準」準拠

ビジネス変革・データ活用・テクノロジー・セキュリティ・パーソナルスキルを定量評価

# DX 推進スキル 共通スキルリスト

区分	No	項目
ビジネス変革	戦略・マネジメント・システム	ビジネス戦略策定・実行
		プロダクトマネジメント
		変革マネジメント
		システムエンジニアリング
		エンタープライズアーキテクチャ
		プロジェクトマネジメント
	ビジネスモデル・プロセス	ビジネス調査
		ビジネスモデル設計
		ビジネスアナリシス
		検証（ビジネス視点）
		マーケティング
		ブランディング
	デザイン	顧客・ユーザー理解
		価値発見・定義
		設計
検証（顧客・ユーザー視点）		
その他デザイン技術		
データ活用	データ・AIの戦略的活用	データ理解・活用
		データ・AI活用戦略
		データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価
	AI・データサイエンス	数理統計・多変量解析・データ可視化
		機械学習・深層学習
	データエンジニアリング	データ活用基盤設計
		データ活用基盤実装・運用

区分	No	項目	
テクノロジー	ソフトウェア開発	コンピュータサイエンス	
		チーム開発	
		ソフトウェア設計手法	
		ソフトウェア開発プロセス	
		Webアプリケーション基本技術	
		フロントエンドシステム開発	
		バックエンドシステム開発	
		クラウドインフラ活用	
		SREプロセス	
		サービス活用	
デジタルテクノロジー	デジタルテクノロジー	フィジカルコンピューティング	
		その他先端技術	
		サービス活用	
セキュリティ	セキュリティマネジメント	セキュリティ体制構築・運営	
		セキュリティマネジメント	
		インシデント対応と事業継続	
		プライバシー保護	
セキュリティ技術	セキュリティ技術	セキュア設計・開発・構築	
		セキュリティ運用・保守・監視	
パーソナルスキル	ヒューマンスキル	リーダーシップ	
		コラボレーション	
	コンセプチュアルスキル	コンセプチュアルスキル	ゴール設定
			創造的な問題解決
		批判的思考	
		適応力	

# 機能紹介 ① アセスメント後のレコメンド

- ✓ 個々人のアセスメント結果をもとに、おすすめの e ラーニングを提案
- ✓ ダッシュボード画面に進捗率を表示
- ✓ 一覧画面、リマインダー機能も用意



キカガク for Business

採点結果

テスト: DXリテラシー標準 受検回数: 1回目

成績

総合得点 72点 / 72点 正答率 100% ランク SS

比較: 組織・グループ 回数

	総合得点	マインド スタンス	DXの 習熟理解	データ	デジタル 技術	活用方法 ・事例	留意点
あなた	27.2 / 72	5.8 / 14	1.8 / 6	5.5 / 16	5.7 / 16	3.5 / 8	4.8 / 12
ここに所属の企業名が入る...	21 / 72	6 / 14	1.5 / 6	5 / 16	3 / 16	2.5 / 8	3 / 12
ここに所属のグループ名...	29.8 / 72	7 / 14	2 / 6	6.2 / 16	6 / 16	3.6 / 8	5 / 12

DXの背景

データ活用

デジタル技術活用

活用方法・事例

マインドスタンス

留意点

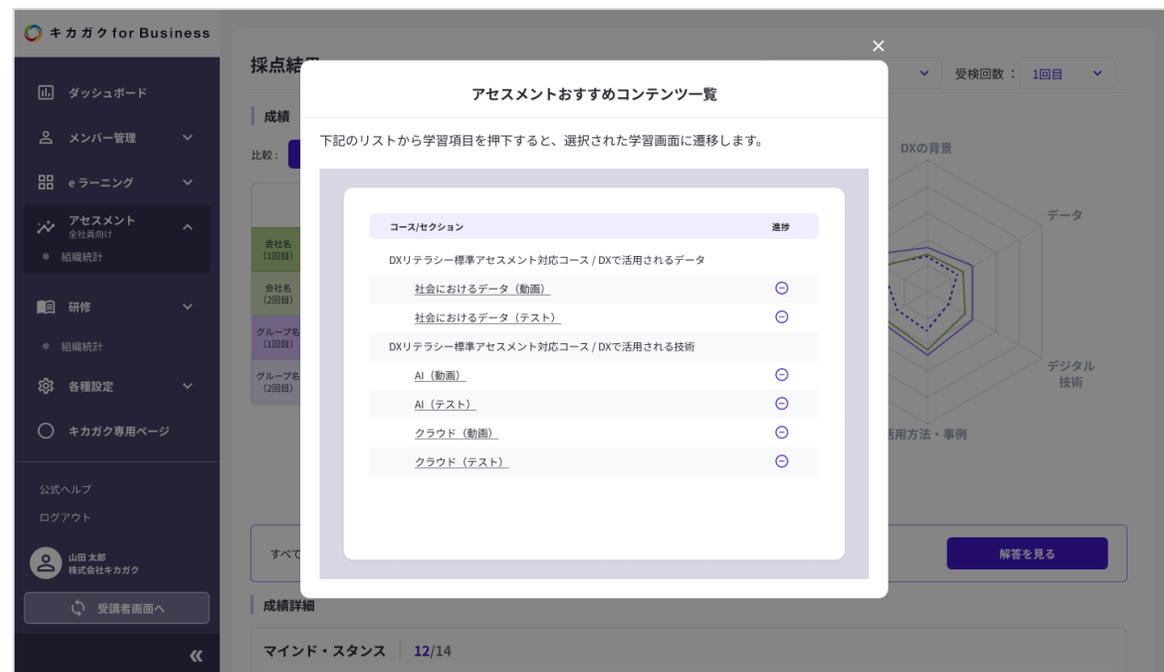
アセスメント結果の傾向から、あなたにおすすめの学習コンテンツを見る

アセスメントおすすめを受講

成績詳細

マインド・スタンス 12/14

顧客・ユーザーへの共感 1/2



キカガク for Business

採点結果

テスト: DXリテラシー標準 受検回数: 1回目

成績

総合得点 72点 / 72点 正答率 100% ランク SS

比較: 組織・グループ 回数

アセスメントおすすめコンテンツ一覧

下記のリストから学習項目を押下すると、選択された学習画面に遷移します。

コース/セクション	進捗
DXリテラシー標準アセスメント対応コース / DXで活用されるデータ	
社会におけるデータ (動画)	<input type="radio"/>
社会におけるデータ (テスト)	<input type="radio"/>
DXリテラシー標準アセスメント対応コース / DXで活用される技術	
AI (動画)	<input type="radio"/>
AI (テスト)	<input type="radio"/>
クラウド (動画)	<input type="radio"/>
クラウド (テスト)	<input type="radio"/>

DXの背景

データ

デジタル技術

活用方法・事例

アセスメントおすすめを受講

成績詳細

マインド・スタンス 12/14



# 機能紹介 ③ 必須コース

- ✓ 絶対に終わらせて欲しいコースを「必須コース」として設定可能
- ✓ コース設定ページを新たに設置

## eラーニング

**必須** 完了率：0% **アセスメントおすすめ** 完了率：0%



**必須**  
**AI/クラウド/IoT 入門コース**  
セクション：すべて  
期限超過



**必須**  
**DX ファーストステップコース**  
セクション：すべて  
期限 本日



**必須**  
**データサイエンス活用コース**  
セクション：すべて  
期限 残り51日



**必須**  
**Python&機械学習入門**  
セクション：すべて  
期限 残り112日

## キカガク for Business

- ダッシュボード
- メンバー管理
- eラーニング**
  - 学習進捗
  - アセスメントおすすめ
  - コース設定**
- アセスメント 全社員向け
- スキル可視化 専門人材向け
- 各種設定
- 公式ヘルプ
- ログアウト
- 横井 亮太 株式会社キカガク
- 受講者画面へ

## コース設定

グループ： **全社員** 利用期間 2022-09-01 ~ 2030-09-01

アセスメントおすすめパッケージ	期限	必須	
DXリテラシー標準おすすめパッケージ		<input type="checkbox"/>	
コース	期限	必須	
クラウド基礎		<input type="checkbox"/>	
ディープラーニングハンズオンコース (PyTorch)		<input type="checkbox"/>	
DX ファーストステップコース		<input type="checkbox"/>	
IT・ソフトウェア基礎コース		<input type="checkbox"/>	
AI/クラウド/IoT 入門コース		<input type="checkbox"/>	

経産省「DXリテラシー標準」に準拠し、知識力・思考力・マインドセットを定量評価するアセスメント  
導入実績 約250社 (2024年9月時点)

## 活用事例パターン

### ① 企業のDXリテラシー合格基準として活用

経産省の定めた日本企業に求められるDXリテラシーの基準に準拠していることから、各企業のリテラシー合格ラインの基準としてご活用いただく事例

### ② DX 研修の効果測定として活用

全社DX / デジタル研修から階層別研修や部署別研修等、DX人材育成研修の効果測定として実施前、実施後の成長率を可視化する目的でのご活用事例

### ③ メンバー選抜の基準として活用

選抜DX / デジタル研修の受講生選抜・社内DXプロジェクト配属メンバー選抜・未経験エンジニア育成メンバーの選抜基準としてご活用いただく事例

## 企業事例

- ✓ 自動車部品製造メーカー（社員規模15,000名）
- ✓ 大手印刷メーカー（社員規模40,000名）
- ✓ 大手食品サービス企業（社員規模7,000名）
- ✓ 建設機械メーカー（社員規模60,000名）
- ✓ 大手素材メーカー（社員規模30,000名）
- ✓ オフィス機器メーカー（社員規模2,000名）
- ✓ デジタルマーケティング企業（社員規模50,000名）
- ✓ バッテリー製造メーカー（社員規模20,000名）
- ✓ Sier 企業（社員規模200名）